

震災復興林業作業システム導入支援事業（継続）

【平成29年度概算決定額（復旧・復興対策） 359,188（355,351）千円】

事業のポイント

○震災復興に向けて汚染状況重点調査地域における放射性物質の影響を考慮した森林整備に係る作業システムの導入を支援します。

<背景／課題>

- ・原子力発電所事故に伴う汚染状況重点調査地域の森林において、森林施業を行う際には、可能な限り放射性物質の影響を受けないようにすることが重要です。
- ・放射性物質は、枝葉、林床に多く集まっていることから、特に伐倒、枝払いを中心に、放射性物質の影響を軽減させるため、高性能林業機械等を導入した作業システムの導入を積極的に支援する必要があります。

政策目標

○素材生産量に占める高性能林業機械を使用した生産量の割合の向上
（約5割（平成23年度）→約7割（平成31年度））

<内容>

放射性物質の影響を軽減させる作業システムの構築に必要な高性能林業機械等のリース方式による導入を支援します。

<補助率>

定額（リース料の1／2）

<事業実施主体>

全国木材協同組合連合会

<事業実施期間>

平成25年度～32年度（8年間）